



新潟医療福祉大学同窓会誌

伍 桃

2005年3月14日発行 第1号

事務局：

〒950-3198 新潟市島見町1398番地

TEL・FAX 025-257-4488

E-Mail: dosokai@nuhw.ac.jp

郵便振替口座番号：00510-3-94730

目 次

同窓会長	1
学 長	2
副 学 長	3
学 部 長	3
学 科 長	4
学生部長	6
学友会長	6
クラブ代表	6
学 生 歌	12

同窓会創設にあたって

この度新潟医療福祉大学第一期生として卒業するにあたり、同窓会を設立できたことを心より嬉しく思っております。

本誌の「伍桃」というタイトルには多くの想いが込められております。来年度から6学科になるということから「伍」には様々な意見があるかと思えます。しかし、本学の原点である「伍」をこれからの長い歴史のなかで大切にしていきたいという気持ちから敢えてつけさせていただきました。また、「伍」には「仲間・組む」などの意味もあるため、私たちに不可欠なコミュニケーション・連携・繋がりも表現されています。

白紙の状態から始まった歴史は、大学の発展同様私達の心も大きくしてくれました。何もかもが私達一期生からというプレッシャーや、環境面での我慢は多々ありましたが、それ以上に新しい大学だからできる「伝統」を創ることへの喜びがありました。今振り返ると、ベースを作ることが精一杯でこの自由な大学の良さを活かしきれなかった様にも感じてい

同窓会長 齊 藤 公 二



ます。そしてまた、これまで当たり前であった様々な事柄が、実は全く当たり前ではなかったという事に気付かされ

ました。なんらかの行事や企画が行われる度に、多くの苦労がその背後には存在するのだということ、卒業生一同この4年間で身を持って体験いたしました。当たり前だと思っていた事が当たり前じゃなくなる。それこそが私たち一期生のみが感じることでできた宝物だと理解しております。

在校生の皆さん、約1200人の小さな大学だからこそできる密な繋がりをぜひ作ってください。縦横の繋がりこそがこれからの長い人生大いに役立つのだと思います。

最後に、私達が卒業するまでに出会った、関わった全ての方々に感謝申し上げます。

これから本学の飛躍を同窓会側から支援し、共に発展・成長していけることを願いお祝いの言葉いたします。

同窓会の創設、おめでとう

新潟医療福祉大学学長 高橋 榮 明



新潟医療福祉大学は2001年に開学し、2005年3月14日に第1期生の皆さんが社会に出発する日を迎えます。皆さんが卒業するにあたり同窓会が創設されることになりました。本学は開学時に理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、健康栄養学科、社会福祉学科の5学科で出発し、そして2005年からは健康スポーツ学科が新しく加わり、6学科となります。

私たちの大学の特徴は多数の学科の皆さんが保健医療福祉分野で対象者の方々、患者さんの「QOLサポーター」を目指して学ぶという共通の目標を持っていることです。専門職を目指す私たちは学科を越えてお互いに知り合い、連携を深めることが大切です。そのために、私たちは1年次から「基礎ゼミⅡ」において、全学科の学生が少人数の混成チームで共同の仕事をし、学友会の運動部、文化部やサークル活動を通じていろいろの学科の学生と知り合い、仲間となることができました。17年度からの新しいカリキュラムで取り入れられる「総合ゼミ」は、16年度に前倒して試行されましたが、これは自らの専門性を深化させると同時に、他の専門職と連携を深め、保健医療福祉分野で幅広い知識を得る第一歩です。

この同窓会を通じて、今後、働き、生活する場所は違っても、この4年間で育んだ仲間との友情を深め、情報を交換し、ともに発展することが期待されます。卒業後に、勤務し、生活する場は日本全国各地になりますが、インターネットがこれだけ発達した現代では、今までの中学や高校の同窓会とは違った新しい時代の同窓会にすることが出来ます。それはお互いの居住地は違っても、専門職間の質問や相談など空間を越えて、信頼できる仲間と情報が交換できることです。日本でも、海外でも、大学ではインターネットを使って講義を受け、学習できるe-

Universityが着実に普及しつつあります。この同窓会ではe-Alumni Networkと呼ぶことができる組織網が作れると思います。それをどのように作り、活用するかは、今後、考えましょう。

このインターネットによる組織網とは別に、卒業生の皆さんとは、年1回は直接お会いしたいと私は願っています。本学が所在する新潟市で年1回の総会を、新潟医療福祉学会が開催され時に、同日開催が企画されています。それから卒業生が居住する都道府県各地に支部を設置し、多数の会員が居住する支部所在地では支部総会を開催して、会いましょう。6学科の専門職は、それぞれ職種の学会、研究会などの会議を全国各地で開催します。その専門の学会の開催地にて、その地域の支部総会を開催して、学科を越えて情報交換してはいかがでしょうか。支部総会にも出席していただける教員の先生から、母校の近況をお聞きすることがでるでしょう。仲間と集まったら、楽しく語り合い、学生歌「生命（いのち）の質を」をみんなで明るく、熱く、歌いましょう。

私も、教員の先生方も、職員の方々、全員は、卒業後、皆さんが新しい環境に早く慣れて、活躍することを心から期待すると同時に、皆さんの活動の実際を知りたいと思います。今後発行される、この同窓会誌を通じて、各地での皆さんの活躍の様子を知らせて下さい。1期生の会員は居住する地域の情報を後輩に知らせてあげて下さい。同窓会が仲間との交流の場となって発展し、QOLサポーターとして皆さんが社会の第一線で仲間と一緒に発展することを心から祈念し、期待します。

第1期生の皆さん、卒業おめでとう。

2005年 春

第1回卒業生諸君へ ―聞くは一時の恥―

新潟医療福祉大学副学長・医療技術学部長 櫻井浩治



第1回生諸君、卒業おめでとう。君たちが入学した時に校舎の周辺に植えられたか細い木々も、今は少し遅くなったようです。諸君もまた、この学び舎で4年間を過ごし、多くの経験を経て大きく成長しました。そして今君たちは、本大学の伝統の基礎を見事に創り上げて、この学び舎を去ろうとしています。

諸君は、1回生という宿命から、全てが自らの手で開拓し進めなければならない、未知の日々の連続した大学生活であったと思います。大学としての動きもまた同様で、諸君と共に思考錯誤しながらの4年間でした。しかし、これからの君たちの後輩は、君たちのお陰で、君たちの後姿を追って、あるいは君たちの後姿を叩き台にして、いかに大学生活を送るかを学べます。有難う、第1回生諸君。この経験はきっと君たちの生涯の誇りとなり、糧となると信じています。

諸君は、これから有能な医療福祉の関連専門職人

として、社会に自立し参加することになります。ただ、諸君が大学で学んで得たものは、様々な実生の種に過ぎないのです。基本でしかないのです。全てはこれからです。種は自分で植えて自分で育てなければなりません。その植え方や育て方は、諸君が接するあらゆる対象者から学ぶことになります。それが臨床です。そうやって又多くを实らせ、君たちの後を追う後輩の良き先達となってください。

その為に、諸君。今は苦勞してください。最初から自信満々の人はいないのです。分からないことは職場の先輩に聞くことです。大学の指導教員に聞きにくる事です。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と言います。特に新人の時は、遠慮しないことです。幸いに、この大学を中心にした新潟医療福祉学会という専門性を学びあう組織もあります。こうした会も利用し、自らを研鑽してください。諸君の健闘を切に祈念致します。

卒業生の皆様へ

社会福祉学部長 山手茂



卒業生の皆様、御卒業おめでとうございます。皆様は、本学の第一期生として、私たち教職員とともに、立派な大学を創造するために努力され、多くのことを学んで巣立って行かれます。皆様の喜びを、私たち教職員も共に喜び、今後の御活躍をお祈りいたします。

ふりかえれば、4年間の大学生活は、長くも感じられ、また短くも感じられます。私は『キャンパス・ガイド』に、「大学は、教職員だけではなく、学生が参加して、ともに活動することによって成立する」、「新しい大学の創造に参加する意欲がある諸君に入学してほしい」と呼びかけました。この呼びかけに応えて入学した諸君は、早速、自主的にクラブ・サークルと学友会を結成して、学生生活を充実させる活動を展開し、後輩の指導にもあたってくれました。

卒業にあたって、同窓会を結成し、母校の教職員と卒業生とのネットワーク、卒業生同志のネット

ワーク、さらに卒業生と後輩とのネットワークを作る準備を進めて頂いています。どの大学でも、同窓会を中心にして、母校と卒業生との協力関係を作っていますが、本学のような保健・医療・福祉専門職養成校の同窓会は、専門職の発展のために重要な役割を果たしています。卒業生の皆様は、これからそれぞれの職場で専門職として活躍されますが、専門職として成長するためには生涯研修・生涯学習を続ける必要があります。そのために、母校の教職員との関係を大切に、必要に応じて助言や支援を求め、新潟医療福祉学会の活動に参加して下さい。また、それぞれの専門職団体や学会にも参加され、母校の教員と毎年1回は会うことができれば、お互いに力づけあえるでしょう。

簡単ですが、卒業をお祝いし、今後の御活躍をお祈りし、いくつかの期待を述べました。

羽ばたけ社会へ新潟医療福祉大学第1回卒業生へ

理学療法学科科長 黒川 幸雄

この度同窓会誌創刊号「伍桃」が刊行されるにあたり、新潟医療福祉大学医療技術学部理学療法学科教職員一同、大きな喜びを感じています。平成13年4月開設以来4年間第1期生は、道なき分野に踏み入り、未知数の大学の創設に関わってきました。何時の時代にも、初めの挑戦者は、様々な困難を忍耐強く乗り越え、いく筋かの希望の光に励まされながら初心の目標に到達して、格別の喜びを味わうのでしょうか。第1期生の皆さんの努力が実って、ここまで漕ぎ着けました、ありがとう御座いました。喜びの美酒を味わってください。

第1期生を中心に同窓会誌創刊号が発刊され、全国に、そして世界に羽ばたく学友の発信源ともなる有力なメディアが出来たことを大変心強く感じています。21世紀初頭は戦争で

幕開けし、世界的な高齢化、貧困、環境汚染による温暖化、天地自然災害が発生して未来に暗雲をなげかけています。しかし青年は、未来を開拓する人々であります。困難もありますが、その分喜びもひとしおでないかと想像します。どうか健康に留意し、元気で社会に羽ばたいて下さい。

有り余る期待を幾分抑えて適度の期待を抱いて皆さん方第一期生を社会に送り出します。安心して飛び立ち、広い世界に羽ばたき、ご活躍下さい。しかし何かつらい時もあるでしょう。そんなときには迷わず何時でも後輩や教職員のいる母校に帰って来てください。暖かく迎えます。そして時には「伍桃」創刊号を、そーっと紐解いて下さい。そんな時に思わず癒しの言葉に接しにして、ほっとすることもあるでしょう。そんな「伍桃」に創り上げられたらいいですね。

結びに改めて同窓会誌「伍桃」の創刊に関わった学生・教職員の皆様に感謝の意を表します。

卒業生の皆様へ

作業療法学科科長 矢谷 令子

そうです。あの日から4年が経過しました。

それは、入試の日から そして入学式の日から私達教職員と1期生の皆さん方との出会いは始まりました。

当大学は、産声をあげたばかりで、まだ名も知られていない大学でしたが、よくぞ皆さん方は、いち早く聞きつけて当大学の門をくぐって下さいました。皆さん方も興味津々たるものがおありでしたように、私達も期待満々たるものがありました。そしてまた、隠しきれないご父兄の皆様のご心配も十分に伝わって参りました。そのようなご父兄の皆様お一人お一人に、「待っててくださいね。4年後にはきっと大きな喜びとなって成長された卒業生をお返し申し上げますからね…」と私達は無言のうちにお話かけておりました。

そして4年の歳月は容赦なく流れて今日の日を迎えました。大学にとってもすべてが初めてでしたが、1期生の皆さん方にも、知恵や過去問をまわしてくれる先輩もなく、いろいろとご

苦労も多かったことと思います。また大学にとっての成長という痛みは、もろに1期生の皆さんにも共に背負って戴きました。「ありがとうございましたね。」何もないところに皆さん方は斎藤公二さん率いる学友会を立ち上げ、数々のボランティア活動にも活発に参加されました。皆さん方がいらして始めて手をそえて歩き出した新潟医療福祉大学です。皆さん方の引いたレールを之から後輩の皆さん方も歩きます。1期生としての戸惑いや苦労は、今は誇りとも喜びともなって永遠に皆様のものです。1期生の座は今後とも誰も越えることはないのです。どう見てもチョット素敵ではありませんか。後輩を末長くよろしくお願い致しますよ。そして、母校を愛して下さいね。

どうぞ皆さん方の誠意ある働きを待っておられる皆様の許に、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、健康栄養学科、社会福祉学科の卒業生の皆様、本大学のモットーである“QOLサポーター”として、この新潟の大空から日本の隅々に、そして世界に、元気に巣立ってください。皆さん方の努力の足跡に…感謝!!

“ご卒業、心よりおめでとう。ご健闘を祈ります”

初 生 り

言語聴覚学科科長 渋谷 直樹

その年に初めて収穫される果実や野菜は「初生り」といわれ珍重されてきました。お遣い物として親しい人に差し上げたり、健康になるようにと子供に食べさせたりする習慣があります。初物はそのことだけをとても「めでたい」もので、特別なものです。たとえ、形が不揃いでも味が熟していなくても、初めてということは、それだけでとにかく「めでたいもの」なのです。

そのような意味をこめながら、改めて「卒業おめでとう!」。

先輩のいない、新しく伝統を築いていく宿命にある一期生の皆さんはよく頑張ったと思います。学生にも教職員にも少なからぬ試行錯誤が付きまといましたが、4学年がそろった今年度になってみると、本学の校風というものや醸し出されてきたと思います。専門職同士が協調、協同するという精神を育む気風が本学の校風だと感じます。それが伝統となるための牽引役を果たしてくれた皆さんにエールを送ります。

卒業後も本学で一緒に学び、遊んだ友人は大切ですが、今後新しく出会う人々から学べることは数多くあります。社会人としては駆け出しの1年生ですから、新鮮な気持ちで勉強して行って欲しいものです。同窓会として今後ずっと交流を続けていくことになりますが、継続はきっとそう簡単ではないと思います。しかし、いつか必ず本学での生活がほのぼのと懐かしくなるはずで。その拠り所としてのこの同窓会を是非盛り上げて下さい。

卒業は新たな入学、別れは新たな出会いへというように、この循環は連綿と続いていくことでしょう。本学で経験したことを時々思い出して欲しいと願っています。私も今、自分のエピソード記憶の螺子を巻きなおして再生してみると金色のオルゴールの音とともに懐かしい思い出がよみがえります。こんな風にじっくりと振り返るいとまもない4年間でしたが、ここで一息つくことができました。

一期生の皆さんは本学の「初生り」です。「めでたいもの」です。本当に「愛でたい者」、これからも本当に愛でてあげたいものです。

スローフード運動の実践をめざして

健康栄養学科学科長 村山 篤子

長いようで過ぎてみればあっという間の4年間でした。何はともあれご卒業を心よりお祝いたします。

3月4～6日朱鷺メッセで《スローフード・スローライフ展》が開催される。スローライフは日本流・日本独特のゴロ合わせでしょう。「スローフード運動」は、北イタリアピラモンテ州のプラという小さな村で『スローフード協会』が発足したのが始まりであり、マクドナルド第1号店がローマに出来たのがきっかけだったという。いつも口にする食べ物についてゆっくり考え、①消えつつある郷土料理や伝統的な食材、質のよい酒やワインをまもっていく、②質のよい素材を提供するために頑張っている「小さな生産者」を応援する、③子供を含めた消費者に味の教育を進めていく、——この3つの柱をかかげている。

近年は、核家族の増加や女性の社会進出に伴う中食産業の発展などにより、従来の家庭の食事が軽視され子供たちは自由に好きな物を食べる状況におかれている。そのため家庭における食の伝承は途切れ、子供たちの食生活も危惧されてきた。最近では、食育を小・中学校のカリキュラムに導入することに積極的である。しかし、食教育（食育）の基本は家族との日常の食事であり、〈子供にとって料理の最も重要なスパイスは両親の愛情だ〉、という（ジャック・ピュイゼ）の考えに同感だ。

農産物の周年化が加速するなかで、旬の食材を容易に手に入れることのできる新潟のこの恵まれた環境をいかして、品質の優れた安全で美味しく、地域としっかりつながりをもった農産物や加工食品を次世代の子供たちにおくっていくために、管理栄養士として、食文化の担い手として、新潟に見合った独自のスローフード運動を展開してほしいと思う。皆さんのご活躍を期待しています。

QOLサポーターと健康

健康スポーツ学科学科長 佐藤 勝弘

超高齢化した今日的社会が真に求める人材である本学1期生の皆さんのご卒業を心からお祝いたします。

QOLサポーターとして高度な専門的知識とその技術を学ばれた皆さんの活躍が大いに期待されています。が、しかしそのためには、なによりもまず皆さん自身の「健康」がその鍵を握っています。上手下手にかかわらず生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、みなさん自身の「健康」を保つことを願う立場から、本学は他大学に比べ「教養体育」が重視されていました。

1年時のソフトバレー、海辺の森でのキャンプと「センス・オブ・ワンダー」の輪読、尾瀬トレッキング、グリーンピア

津南のスキー。2年時のカヌーや3年時のチェアバスケットボール、ブラインドスポーツなど自然の中での体育、障害者体育の大切さを体験しながらのあっという間の3年間の体育授業でした。この「教養体育」の本当の単位合格は、将来、みなさんが、家族や地域の一員として、あるいはQOLサポーターとして活躍する場で、自らの「健康」に留意しながら生涯にわたって運動やスポーツに親むようになった時にこそ認められることになります。

なお、本学では「教養体育」をさらに発展させ、医療、福祉、保健の分野において積極的・予防的健康増進の立場から、平成17年度から新しく「健康スポーツ学科」が開設されることになりました。母校の名前をつけた選手がスポーツの場で活躍する時には、卒業生のみなさんも是非応援してください。

第1期生へのお祝いの言葉

事務局長 沼田 忠義

第1期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

新潟医療福祉大学の所定の教育課程を修了し、晴れて学位記を手にした皆さんの胸中は、卒業の喜びと将来への期待感に満ちあれていることと思います。また、保護者の方々のお喜びもいかに察し、心からお祝い申し上げます。

顧みますと、本学は、平成12年12月に文部大臣の設置認可を得て、平成13年4月に開学し、最初の入学生をお迎えしたのでありました。大学の設立準備に関係してきた者のひとりとして、非常に感激を覚えたものでありました。その最初の入学生を、ここに世に送り出すこととなったことに喜びを感じます。

学園生活は、厳しいなかにも楽しさもあったと思います。卒業の日を迎えて、なつかしく思い出されていることと思い

ます。

卒業生の皆さんの多くは、医療福祉関係施設等へ就職し、中には大学院に進んで、更に勉学を続ける方もいたり、それぞれの道に夢を持って進まれることでありましょう。

どのような生活様式の中にあっても、ますます健康で、豊かな情操を養い、理想を高く持って努力し、広い知識をもった人間になってほしいと思います。また社会人として責任感を持つことに心掛けてほしいと思います。

将来、各職場の中核的な職員になり、中には職域の代表的な存在になる方もありましょう。大いに成長、発展されることを期待しております。

卒業後においても、機会あるごとに新潟医療福祉大学にお立ち寄りいただき、大学の発展ぶりを見ていただき、また後輩を励ましていただければ幸いに思います。

希望にあふれ、新たな出発をされる皆さんに、あらためて心からお祝いを申し上げ、お祝いの言葉と致します。

第1回卒業生・同窓生、おめでとう

学生部長 小 野 昭 一

第1回卒業生の皆さん、おめでとう。4年前、皆さんは文字通り一から出発し、短期間のうちに学友会を立ち上げ、クラブ活動を開始し、大学祭を実施し、大学の伝統は自分達が作るのだ、学友会活動は任せておけと、実に頼もしい限りでした。皆さんのやる気と熱意と実行力は、本当に目を見張るものがありました。

思えば、平成13年4月26日、本学第1回学生委員会が開かれ、学友会創設が議題になり、5月23日に基礎ゼミ代表39名から成る代表者会議で、学友会総会と会長選挙が検討され、5月30日に第1回総会が開かれたのでした。議長佐野浩之君の「只今から第1回学友会総会を開きます」で始まり、学友会会則（案）が了承され、斎藤公二君が初代会長になりました。斎藤会長は、磯部美和、長島智浩の両副会長や5学科の

代表と共に、運営委員会の設置、予算案の編成、クラブの設立、大学祭の開催、球技大会の実施、リーダーシップ研修会等々、次々に計画し実行しました。大学祭は「伍桃祭」と命名され、歴代実行委員長（斎藤公二、佐藤洋介、橋本亮二、鶴川孝弘）の指導力と、実行委員達の夏休み返上の献身的な努力によって年々盛大になり、クラブ活動も着々その成果をあげてきました。このような活動と事業と伝統は、2代目木村由佳、3代目白井祐輝の両会長に引き継がれ、後輩達の理解と支持を得て、学生生活を豊かにし充実させる原動力となっています。

最初の同窓生となる皆さん、私は皆さんの前途を祝し、今後の活躍と幸せを念じつつ、皆さんが同窓生として母校と同窓会に関心を寄せ、応援してくれることを切望します。広辞苑で「三号雑誌」を引いてみて下さい。この同窓会誌がそうならないためにも、力を貸してください。

祝 卒業

第二代学友会長 木 村 由 佳

ご卒業おめでとうございます。

私の4年生との出会いは、1年の時の新入生歓迎会でした。バスケットボール部の先輩方の怖いスーツ姿、斎藤会長のモンゴル800…。大学って自由で楽しいんだあとと感じました。それから、初めての球技大会や伍桃祭に参加させて頂きました。先輩方が楽しそうに行事の企画・運営をする姿を見て、学友会長になりました。

私の学友会長としての初めての仕事は、リーダーシップ研修会の企画・進行でした。3年生の先輩方を前に、2年の私が研修会の進行をさせて頂くことは、とても不安でした。しかし、リーダーの先輩方は準備の段階から当日も、優しく協

力していただきました。先輩方のおかげで研修会を無事終えることができました。

私は、一年間学友会長として、沢山の行事の企画・運営をさせて頂きました。先輩方は、楽しそうに企画していたように見えたのですが、実際にやってみると、楽しいことばかりではありませんでした。私達だけではわからないことや、できないことなどいくつもの壁がありました。そんな時、いつも見守り、サポートしてくれたのが、一期生の先輩方でした。先輩方は、私達後輩に辛い姿を見せず、楽しませてくれたのだということがわかり、本当に尊敬しました。

それぞれ別々の道へ進む先輩方、この大学で、新たな伝統を築いてきたことを誇りに、それぞれの道で活躍されることを期待しています。出会ってからの3年間、本当にお世話になりました。

卒業生の皆様へ

第三代学友会長 白 井 祐 輝

ご卒業おめでとうございます。

私たち第四期学友会メンバーは、四年生の先輩方とあまり接点がありませんでした。でも、先輩方がこの新潟医療福祉大学の土台を築き上げてくださったおかげで、学友会や部活、サークルまた、伍桃祭というすばらしい名と行事、球技大会と先輩方が創ってきた行事や組織は今でもうまく成り立っています。そして遊ぶときは遊び、やるときはやるという意思是今でも受け継がれています。なにもないゼロからの

スタートで先輩方は色々な試練や壁を乗り越えてきたのだと思います。実際、私たちがやってみると、全然思うようにいかなかったり、ハプニングもあってなかなか先輩方のように、目に見える成果をあげることができませんでした。また、上に立つものの「伝えること」の難しさを知りました。

私たちは一期生というプレッシャーの中このようなすばらしい学校を創って下さった先輩方に感謝の気持ちでいっぱいです。これから先輩方はそれぞれの決めた道にむかって、学友会での経験を生かし新たな場で活躍できることを四期生一同心から応援しています。

クラブ代表

■水 泳 部

○部活動報告

今年度は、2年生1名、1年生7名の部員で新入部員が多く、楽しい部活動を行うことができました。全体としての練習は週に1、2回、2時間程度の個人練習を行いました。個人の日程が合わず、部員全員が揃ってプールへ行くことはできませんでしたが、それぞれが目標をもって練習に取り組め

たと思います。また、日本水泳連盟へ1年生の2名を登録することができました。大会には出場していませんが、泳力強化や技術向上などを目標に練習に励めたと思います。

○卒業する先輩方へ

ご卒業おめでとうございます。先輩方が水泳部を立ち上げてくださらなかったら、私は先輩方に出会うことができませんでした。一緒にいられる時間は少なかったですが、先輩方が水泳部の先輩で、私の先輩で嬉しく思っています。2年の部員は私だけで、1年生が入部してくれるかととても不安でし

たが、なんとか1年間部長を務めてきました。ここまでやってこられたのは、先輩方が良い見本を見せてくださったからです。部活動以外でも多々お世話になることもあり、楽しい時間を共有でき、学ぶこともありました。先輩方は私にとって尊敬できる、大きな存在です。水泳は、福祉を学ぶ私たちにとって、将来大いに活用できるものだと思います。先輩方との経験を生かし、これからも泳ぎ続けたいです。ありがとうございました。

■男子バスケットボール部

思い起こせば新入生歓迎会のバスケ部の伝統となった、スーツにサングラスという、ちょっと怖い…いえ、とても怖い装いも一期生の先輩方がハジマリだったそうですね。そんなちょっとふざけた、だけど練習のときは真面目なバスケ部の雰囲気は先輩方から渡されたひとつの大きな伝統だと思います。二期生の代に変わってからも練習によく来ていただきました。私たちが練習に煮詰まったときに、的確なアドバイスをいただきました。一人ひとりが主体的に考え、行動することが大切だということも先輩方から学んだことです。

先輩方がゼロから作り上げたバスケ部は今年で三年目を終えました。立ち上げから軌道に乗せるまで多くの困難があったことと思います。また、私たちが先輩方の作り上げたバスケ部に新しい伝統を築くことができたか不安です。しかし、自分たちはこの先輩方の作り上げたバスケ部がだいすきです。また、そのバスケ部の一員であったことを誇りに思います。これから、バスケ部は大きく体制が変わり、環境も大きく変わるそうです。新しいことに挑戦した先輩方に負けずに新体制に挑戦したいと思います。今まで本当にお世話になりました。ありがとうございました。

■女子バスケットボール部

4年生の先輩方ご卒業おめでとうございます。早いものでもう卒業してしまうのですね。

4年生の先輩方は、この新潟医療福祉大学にバスケットボール部を創り、新しい伝統を築き上げて下さいました。特に藤田杯という大会では初出場、初優勝という素晴らしい結果を残し、他にも数々の成績と愛と勇気とどんぐりを残してくれましたね。今でも色々な出来事がつい昨日のこのように思い出されます。佐渡への遠征では、地元のテレビに映ったり、そして帰りのフェリーではほぼ全員船酔いでした。上越では行きつけの中華料理屋もでき、富山ではN先生のメガホン事件が起こり、ベンチでは大慌てでした。どの出来事も先輩方とのことが思い出されて、今までどんなに私たちが頼りにしていたか思い知らされます。コート上ではもちろんコート外の外でも本当にお世話になりました。感謝してもきれないほどの気持ちで一杯です。

これから社会人となっていくわけですが、社会人として辛いこと苦しいこと数多くあると思います。そんな時は大きな声で、「1、2、3、どんぐりー!」と叫んで医福大バスケ部でのことを思い出して頑張ってください。4年間、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

女子バスケットボール部の活動は、今までの活動とは変わ

り目標を高くもち、健康スポーツ学科の新しいメンバーと一緒に活動していきます。練習時間や練習内容も大幅に変わりますが、みなでがんばっていこうと思っています。

■陸上競技部

4年生の先輩方々、ご卒業おめでとうございます。この度は新潟医療福祉大学開学以来初の、そして我ら陸上部初の卒業生誕生となる記念すべき日となりました。改めて、おめでとうございます。先輩方は第1期生として、大学の様々な面において、土台となる基盤を築いてくれました。その中の一つとして陸上部があります。時が経つのは早いもので、私達が入部して当初の頃がまだ最近のように感じられます。先輩方が私達をあたたく迎えてくれて、部員全員が楽しく行える工夫された練習を、和気藹々とした雰囲気の中で活動してきたことや、大会や大学祭でのクレープ作りなども、今では私達の良き思い出となっています。私達は、この先輩方が築いてきた陸上部を引き継いで、これまでと同様に、楽しくよりよい部活動を行えるような、また大会においても活躍できる陸上部を目指して努力していきたいと思っています。これから先輩方は卒業されて、新たなスタートとなりますが、4年間の大学生活や部活動を通して獲得した能力(瞬発力、持久力、そして…… etc.)をぜひ活かして、充実した、そして素晴らしい日々となるよう部員一同応援しています。

■サッカー部

卒業生への言葉…

卒業生の皆さん卒業おめでとうございます。サッカーはボールひとつあればどこでもできるスポーツです。僕がまだ入学して間もない頃、先輩方にはとても親身に接していただいて、ありがとうございました。これからの皆さんの御活躍をお祈りします。で、またヒマになったらみんなでサッカーしましょう。

今の部活状況…

現在サッカー部はプレーヤー・マネージャー合わせて21名で、毎週火・水・金で活動しています。また、混合サッカーサークルは約15名で毎週日曜午後活動しています。

冬季は屋外での練習はできないため、各自で自主トレーニングを行っています。また、夏季からは本学のグラウンドが改修工事のため使用できなかったのですが、近くの運動場を借りて練習したり、新潟スタジアム近くの運動場で試合を行ったりしました。

大会の参加に関しては、去年度は大学・高専秋季リーグのみの参加でしたが、今年度はそれに加えて大学サッカー連盟春季リーグへの2つの大会への参加をしました。結果は春季リーグでは二部リーグ2位、秋季リーグでは4位という結果を残すことができました。が、まだまだ試合や大会などで課題が見つかることも多かったためその課題を克服し、来年度はこれまで以上に良い結果を残せるよう練習に励んでいきたいと思っています。

■卓球部

4年生を送る言葉

4年間自分を磨き、がんばってこられた先輩方大変お疲れ様でした。いつも先輩の背中を見て、いつかは追い越してやるという気迫を持ちながら卓球を楽しむことができました。最初は部員が数えられるほどしかいませんでしたが、今では20人を超える部員が集まる部として成り立つに至りました。これもすべて、この卓球部を一から創り上げてきた先輩方のおかげで。これから、社会に飛び立つ先輩がそこでもまた輝きを放ちながら活躍することを祈ります。またいつか、先輩と卓球をやりたいです！ あと、おいしいラーメン食べに行きましょう！

卓球部一同

■剣道部

『ご卒業される先輩方へ』

剣道部の先輩の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩方はいつも私たち後輩に対して優しく、大学生活のみではなくひとりの社会人として生きていく為に必要なこともたくさん教えてくださいました。そのことで時には厳しくおっしゃられることもありましたが、それもすべては私たちを常に考えてくださる証と思うと本当に胸が熱くなる思いです。これからは私たち後輩が剣道部を引っ張っていくこととなりますが、新潟医療福祉大学に剣道部を創った先輩方の剣道に対する気持ちをしっかり引き継ぎ、先輩方が「またこの大学で稽古したい！」と思えるようなより大きな剣道部にしていきたいです。いえ、必ずしてみせます。4月から先輩方は社会人として新たな生活を始めますが、剣道部で4年間過ごしたことと、その中で私たちと過ごしたことを忘れないでください。私たちはいつでも応援しています。拙い文章ではありますが、以上をもって饒の言葉とさせていただきます。本当に今までありがとうございました。

『剣道部・現在の活動状況』

現在の剣道部は4年生を含めると17名の部員が活動に参加しており、日々楽しい空気の中で互いを高めあうために真剣に練習に取り組んでいます。昨年度より部員が増えたことで練習の質も向上し、一体感もより強固なものになりました。今年度で4年生の先輩方が卒業されますが、これからも先輩方から受け継いだ沢山のものをもってより積極的に活動していきたいと思っています。

■バレーボール部

手本がなく、右も左もわからぬ状態で部活の土台を作るといことは、並大抵の努力では成し遂げることはできないでしょう。本学の一期生でありながらも、バレーボール部の第一歩を踏み出した先輩方を、尊敬してやみません。ご卒業を心からお祝い申し上げます。

入学当初、とにかくバレーに触れたいと思っていた私は、初めて体育館に足を踏み入れ、初めて先輩方にお会いしたときのことを鮮明に覚えています。精力的に活動する姿が魅力的で、一緒にバレーをできるという喜びと、これからへの期待に胸が膨らみました。

今、私たちの先輩方に頼りきっていた「後輩」としての時期は過ぎ、すでに「先輩」として部を引っ張る立場にあります。私たちは、先輩方の築いて下さった土台に、揺らぐことのない柱を立てるため、お互いを高めあい、協力し合っていきたいと思います。

これから先、先輩方は多くの困難を体験されることと思います。しかし、部を立ち上げ、導いてきた先輩方なら、どんな苦難をも乗り越えてゆけるはずですよ。先輩方の将来が明るいものであることを信じ、祈っています。

今、私たちは春の大会に向けて練習を重ねています。充実した試合と、満足の行く結果と、両方を得ることができるように、そして何より、後に振り返ったときに「楽しい大会だった」と笑いあえるよう、部員全員一丸となり、臨んでいこうと思います。

■ソフトボール部

4年生の先輩方にメッセージ

先輩方とは、約1年半一緒に活動に参加させていただきしました。回数で数えるとそんなに多くはありませんでしたが、経験者、初心者問わずに気軽に参加できるよう配慮をしてくださりソフトボールというスポーツを楽しめたと思います。また、部活以外でも声をかけてくださり、楽しくお話ができ充実した大学生活も送ることができ、勉強面でもいろいろ助かることが多々ありました。なんだか、あっという間に時間が過ぎ、先輩方の卒業も間近になりましたが、それぞれの目標に向かって頑張ってください。機会がありましたら、また一緒にソフトボールをしましょう。短い間でしたがありがとうございました。

■レクア.コム部

2004年度レクア.コム活動報告&四年生への激励活動報告

- ・学校週5日制対策事業「一休さん」
- ・障害学童クラブ「どらえもんず」
- ・「遊ぶ会」
- ・福祉の店
- ・障害者スポーツ大会
- ・学生ボランティアサミット
- ・地域づくり学会
- ・夏休みふれあい教室
- ・ぐみの会入浴ボランティア
- ・海辺の森キャンプ
- ・松浜まつりボランティア
- ・北ふれあい会
- ・松浜中文化祭ボランティア
- ・コミュニケーション学会東北支部大会
- ・ふれあいの集い
- ・太夫浜地区の餅つき大会
- ・はまなす駅伝
- ・リーダー研修会

…他多数

四年生への激励

レクア.コムにとって四年生の存在は、とても偉大なもので、サークル活動だけではなく学業・趣味など多種多様な面で関わっていただきました。

また、先輩方はレクア.コムを白紙の段階から立ち上げました。レクア.コムは小学校を含めた地域の方々をはじめ、社会福祉協議会、他大学などとのネットワークを築き上げるなど、大学と地域社会を結びつけるものとして発展してきました。

した。ここまでレクア・コムを形成するのには、並々ならぬ努力を重ねてきたに違いありません。

正直なところ四年生がご卒業することにより、レクアがどうなるのかという不安はあります。しかし、四年生がこの大学から巣立つとともに私たちも四年生から巣立ち、レクア・コムを私たちなりに向上させていくことが四年生への最高の手向けとなると感じます。

■軽音楽部「Zip」

ご卒業おめでとうございます

先輩方はこの新潟医療福祉大学の一期生として、とても苦労が多かったことと思います。今、私達が行っている部活動やサークル活動は、先輩方が入学された時には何もないところからのスタートでした。学業のみに専念できる環境ではなかったと思います。そんな中で、新潟医療福祉大学の伝統を全てゼロから創り上げなくてはならない状況にいた先輩方の苦労は相当なものだったことと思います。

軽音楽部は今、楽器も一通り揃っており活動できる環境も整っています。今、私達軽音楽部が活動出来ているのは、全て初代軽音楽部部长さんをはじめとした一期生の軽音楽部のみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。これからの軽音楽部は先輩方が築いて下さった伝統（例えば学園祭への出演）を守りつつもさらに発展させて、後輩たちに受け継いでいきたいと思っています。

先輩たちには大変お世話になりました。本当にありがとうございました。これからは、それぞれの選んだ道で頑張ってください。

軽音楽部部长 村田翔太郎

■手話部「日和」

○前年度の活動状況○

毎週月・木の昼休み：手話の練習

月2回：手話サークル「かけはし」との交流会

＊基本挨拶～会話表現の練習まで

週1回：保育園で手話ソングを教える。

5月：「夢を語る会」でステージ発表

＊曲名「すべてがぼくの力になる！」

文化祭：ステージ発表

＊曲名「夏色」、「上海ハニー」

11月～12月：学童保育施設「ひまわり」で、手話ソングを教える。

＊曲名「世界に一つだけの花」

12月：「かけはし」のクリスマス会で、手話ソングを発表。

＊曲名「花」、「また会える日まで」

○先輩へのメッセージ○

＊先輩方、ご卒業おめでとうございます！先輩方が最初に作った手話部は、私たちから、また次の世代に引き継がれています。活動の内容も、そのまま続けていくものもあれば、徐々に変化していくものもありました。

この部活で得たものを「手話」という形で使う機会は少なかったとしても、コミュニケーションや将来の職業に、違う形で生かせたらと思います。

先輩たちが新しい出発点に立ち、またそれぞれの道を歩いていくことを心より応援しています。

■写真部

写真部第1期生のみなさんご卒業おめでとうございます。写真部はとても個性豊かなメンバーで、その先輩方と楽しく活動できたことをうれしく思っています。

第1期生の企画から始まった、写真を通して個々の色を出そうという「Color」は伍桃祭での展示を中心に年に2～3回、私たちの活動の節目として、そして皆さんに私たちの作品を見てもらう場として、今でも活動の中心となっています。その中で見てくれた人が何かを感じ、ここに伝わるものがあればと思っています。

平成16年から新しい試みとして講師の方を招いて写真講習会を行っています。初心者ばかりなので、写真に関する知識や技術を得ることで、ファインダーをのぞいて見た世界を自分らしく表現することができるよう、目標を持ってがんばっています。先輩方にも、卒業後もずっとそれぞれの個性や魅力があふれる写真を撮り続けてほしいと思っています。

この新潟医療福祉大学で学んだこと、そしてこの大学生活で出会った仲間や思い出を大切に、先輩方が自分の専門職に誇りを持ち、ご活躍、ご健闘されることを願っています。

写真部 後輩一同

■茶道部

始めに…今までの先輩たちへの感謝の気持ちを一言ずつではありますが、文集にしてみました。これをみて、私たちの事を思い出していただけたら幸いに思います。

●体調には、くれぐれもお気をつけて健康を崩さぬように、お元気で。横尾貴久 ●迷惑かけてばかりでしたが…いつまでも皆さんから教わったことは忘れません！お元気で。山根明子 ●短いようで長いような間でしたがお疲れ様でした。本間将人 ●短い間でしたが、いろいろと勉強になりました。これからもがんばってください。佐藤瑞穂 ●先輩であり、家族であり、親友であった先輩方！いつまでも素敵なままでいてください。北出佳美 ●4年生のみなさん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。細木秀一 ●ご卒業おめでとうございます。これから色々な事があると思いますががんばってください。中山尚子 ●4年間、共に茶道を楽しみ学んだことは忘れません。ありがとうございました。田中良美 ●4年間お疲れ様でした。先輩方が築き上げた伝統は、茶道部の宝物です。帯金恵子 ●ここにひとつの伝統を作り上げた先輩方の熱意を忘れません。野村佳代 ●すばらしい伝統を作ってくださいありがとうございました！大切にします!! 脊戸真希 ●ほんの短い間しか御一緒できませんでしたが、すごく楽しい時間を過ごすことができました。さらにすばらしい茶道部になるように、新部長としてがんばっていきます。松井和敬 ●あまり部活に出られませんでしたでしたが、いろいろ教えていただきありがとうございました。内田康介 ●先輩方にはほんとうにお世話になりました。部活だけでなく勉強や友達のこととかにも相談に乗っ

ていただいて本当にありがとうございました。社会人になってがんばってください。保坂希美 ●第一期生として学校を盛り上げてくれて とても感謝しています。ありがとうございました。松本尚子

■吹奏楽部

4年生へ送る言葉

ご卒業おめでとうございます。

4年生とは、学内行事や交歓会、学生ウインドなどたくさんの行事で演奏することが出来ました。そこでは4年生の部活に対する、また音楽に対する熱い思いがひしひしと伝わってきて私たちが頑張っていこうという気持ちになりました。

時には厳しく、そして時には本当に優しく私たちの活動を見守ってくれた先輩たちには、本当に感謝しています。今の私たちの部活があるのは、4年生が引退してから私たちの力になってくれたからだと思、実感しています。

現在私たちは、卒業式の演奏の練習をしています。これを読まれる頃は、まだその演奏を聴いていないのかもしれませんが、先輩たちへの感謝の気持ちを込めて精一杯頑張ります。また先輩達の卒業と同時に入学式という新たな春を迎えます。新入生が部活にも入ってくるでしょう。先輩達が作ってくれたこの部活に対しての想いをしっかりと引き継ぐことが、現役部員の最後の役目なのではないかと思います。

最後になりますが、まだ大学自体の歴史は浅く、部活においても確立していないあやふやな部分もあると思います。これから先輩達が作ってくれたこの部活への想いを基礎として、後輩達と協力して大切に育てていきたいと思います。今まで本当にありがとうございました。

時々遊びに来てくださいね！ その時はまた一緒に楽器を吹きましょう！

■野球部

現在野球部は、4月から始まる春季大学リーグ戦へ向けての自主トレーニング期としているため、部としての練習は行っていないが、3月から全体練習を始めたいと考えているところ。昨年は春季リーグ、秋季リーグともに不本意な戦績でした。負けた相手とも力の差は感じられなかったもので、今年は全9試合全勝したいと思。また何より、野球を思う存分楽しみたいと思。野球はとても楽しいスポーツです。打って走って守って投げてとても気持ちがいいです。この野球の楽しさを教えてくれたのが、4年生のみなさんでした。まだ入学したてで、野球がしたいと思って勇気を振り絞って一人でグラウンドに現れ、緊張している自分を、先輩方はとても明るく迎えてくれ、たくさん声を掛けてもらいました。野球好きに悪い人はいない、ということを確認した瞬間でした。あのときの感動は忘れられません。そしてそれからは活動日のたびに、グラウンドに行くのが一番の楽しみでした。このように4年生のみなさんはとても明るくて優しい方ばかりでした。そしてみなさんとても野球が好きで、とても楽しそうにプレーしていました。自分も一緒にやらせてもらってとても楽しくて、スポーツをやる上でそれが一番重要なことだと教えてもらったように思。4年生

のみなさん、ご卒業おめでとうございます。これからも野球好きでいて下さい。ありがとうございました。

■テニス部

卒業生の先輩方へ

先輩、卒業おめでとうございます！

先輩たちの代から始まったテニス部も、現在、部員の数は約60人と大所帯の部活となりました。活動日時は毎週水曜日、日曜日、他に授業の空き時間等も活動しており、内容は主にラリーや球出し、ゲーム形式などをおこなっています。大会にも多く参加するようになり、成績もそれなりに残すことができました。技術の向上を目指し、部員等の交流を深めるとともに大会で上位を目指すという目標の元に日々活動しています。テニス部はナイター設備が無くテニスコートの数も少なく、決していい環境ではありません。また、テニスの実力も学科もさまざまです。そんな中でも一緒に活動している所が魅力だと思います。しかし、私たちは先輩たちと一緒にテニスをする機会があまりなかったように思。もっと先輩達とテニスを楽しんだり、ほかの場面においても交流を深めたかったです。私達が先輩たちのあとを継ぎもっとテニス部を盛り上げていきたいと思。先輩たちが作り上げたこのテニス部をもっと楽しく、活気あるものにしていきたいと思。

卒業後は、それぞれの道を歩まれるわけですが、自分を信じて頑張ってください。私たちも先輩たちのことを心から応援しています。

ご卒業おめでとうございます!!

新潟医療福祉大学 テニス部部員一同

■バドミントン部

バドミントン部4年生に送る言葉と現状について

私が始めて見たバドミントン部のイメージは部活というよりもサークルといった感じでした。入部をしてすぐは楽しむ程度にバドミントンをしていましたが、だんだんと競技としてやりたいという声が高まり、当時の部長だった本宮さんにはわがままを聞いてもらったり、買出しからシャトル管理までしてもらったりと迷惑ばかりかけていたように思。自分が部長になってみて本宮さんの苦勞が身にしみてわかりました。本宮さんをはじめ、4年生には大変お世話になりました。ありがとうございました。

さて、今のバドミントン部の様子はというと…部長を中心として、会計や宴会部長など、役割をしっかりと分担して活動しています。競技組と遊び組も仲良くコートに分け合って使っています。そして念願だった北信越大学リーグへの出場も叶いました。2年生の秋から参加しています。結果はあまり良くないですが楽しく試合をしています。このまま後輩にも今の部内の雰囲気を大切にしてもらいたいし、リーグへの参加も続けてほしいと思っています。簡単ではありますが、以上で4年生に送る言葉と現状についての報告にさせていただきます。

バドミントン部一同より

■コーラス部

☆★コーラス部の4年生を送る言葉☆★

コーラス部一同「4年生の皆さん☆ご卒業おめでとうございます！！！！」

五十嵐菜子「音楽療法セミナーと一緒に歌ったことはいい思い出です。Happy卒業☆」

池田悠太郎「はじめまして！ステキな社会人になれますように☆」

石川祥子「初めて一緒に歌った2曲は忘れません！」

石塚史子「歌ったり笑ったり楽しい時間をありがとうございました☆★」

開発奈採「コーラス部で築いた仲間と素敵な思い出を大切に社会へ大きく羽ばたいてください。」

佐々木万衣子「悠さんの美声素敵でした。いろいろとありがとうございました。」

滝沢洋介「夢に向かって頑張ってください。」

竹内 綾「初めて学祭で発表したときに見に来て下さったこと、とても嬉しかったです。社会に出ると色々な事があると思いますが苦しいときもあれば楽しいときもあるので頑張ってください。」

徳間彩香「私たちのさきがけとして、新しい道に踏み出す先輩方に、素晴らしい未来が待っていますように。」

永正崇文「悠さんありがとう！コーラス部は頑張ります♪」

樋口有紀「コーラス部のこと、忘れないでください☆」

本間絢子「音楽療法のときに歌を初披露しましたね♪先輩達は練習のときも耐えなく楽しかったです☆卒業しても明るく楽しい先輩でいて下さい♪」

武藤 茜「鼻唄歌って頑張ってください。」

渡辺典世「大学で学んだことをもとにそれぞれの目標に向かって頑張ってください。」

■園芸部

先輩へ送る言葉

先輩方と真夏の炎天下で草むしりをしたり、秋の暖かな日に芋掘りをしたり、万代での新入生歓迎会など昨日のこのように思い出します。

先輩達から学んだことは多々あり、それを考えると感謝の気持ちでいっぱいになりますがそれを次の世代へ引き継ぐことが私たちにできる唯一の恩返しであると思い、先輩方が残した伝統を受け継ぐようより一層の努力を重ねたいと思います。

ご卒業おめでとうございます。

■弓道部

ご卒業おめでとうございます。1期生として弓道部を立ち上げて下さった先輩方は大変な苦勞をされたことと思います。私たちがいま弓道部として活動できるのは先輩方のおかげです。高校時代弓道をしていた部員にとって弓道部があり、弓を続けられることはとても嬉しいことでした。また、射法八節など基礎から丁寧に教えて下さったことで、初心者も経験者も楽しく取り組むことができました。この弓道部で伝統を作っていけるように頑張っていきたいと思います。今

までありがとうございました。

現在の活動状況

現在弓道部は3年生5人、2年生5人、1年生9人の計19人で、週2回（火・木曜）活動しています。前半は大学での基礎練習を中心に活動してきましたが、現在は鳥屋野体育館の弓道場で前練習を行っています。道場までは車でしか行けないため部活が行えないこともありました。昨年度は長期休暇中の練習は行っていませんでしたが、今年度は行うことにし、この春休みも3月は活動することにしています。

■ラクロス部

4年生に向けて

長かった冬も終わりに近づき、桜のつぼみも膨らみはじめ、春の訪れを感じる今日このごろです。無事に卒業を迎える4年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。4年間いろいろなことがあったと思います。多くの人々と出会い、また、楽しい思い出もたくさんできたことでしょう。私たちが今、よりよい大学生活を送ることができるのも4年生が築いてくれたおかげです。とても感謝しています。そこで私たちなりのお祝いメッセージをあいうえお作文で送りたいと思います。

オ つかれさまです、どうでしたか？ 大学生活☆

メ でたいです、めでたいです！！ おめでたいです！！！！！！

デ で〜んと登場4年生♪

ト おくから応援していま〜す

ウ 〜んとこれからの活躍を期待しています！！！！！！！！

ところで、みなさんはラクロスを知っていますか？？ 私たちもまだまだ学ぶことが多いですが、みんなで明るく楽しく活動しています。みんなラクロスが大好きです。なかなかみんなの都合が合わなくて活動が出来ないこともあったけど、でもこれからもずっとラクロスを続けていきたいと思っています。まだまだみんなが初心者という状態ですが一歩一歩、部員みんなで成長しあって、技術の向上を目指していきたいです。

■準硬式野球部

活動場所……南浜野球場

練習日……平日7時 土日祝日10時又は3時

卒業生の皆様へ

準硬式野球部の一期生となる四年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。Mr. 準硬の岡部さんをはじめ、千葉ベスト8の川崎さん、横浜高校と投げあった諸橋さん、元バトミントン部高橋さん、そしてバスケットのマネージャー栃沢さん、本当に短い間でしたが一緒に野球ができてとても楽しかったです。もし体がなまったら感じたなら、いつでも練習に参加しに来てください！

新潟医療福祉大学 学生歌

「^{いのち}生命の質を」

作 詞 小野 昭一

補作詞 秋谷銀四郎

編 曲 中村 浩



新潟医療福祉大学 学生歌

「^{いのち}生命の質を」

1

柳都まばゆい 新潟の

新たな道標 わが母校

熱き想いで ここに集うは

道を求める 若き夢たち

学べ 尊き^{いのち}生命の質を

(WOW WOW) 明るい

(WOW WOW) あしたへ

新潟医療福祉大学

2

五港の歴史 新潟の

浪漫をいだく わが母校

時代を担って ここに挑むは

光輝く 蒼き星たち

目指せ 気高き^{いのち}生命の質を

(WOW WOW) 確かな

(WOW WOW) みらいへ

新潟医療福祉大学

3

朱鷺の空燃ゆ 新潟の

未来を語る わが母校

高き理念を ここに記すは

勇気あふれる 挑戦者たち

守れ豊かな^{いのち}生命の質を

(WOW WOW) 信じた

(WOW WOW) なかまと

新潟医療福祉大学

(新潟医療福祉大学)